

スコアシート		基本設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
Q 建築物の環境品質									3.3
Q1 室内環境						0.40		-	4.0
1 音環境					3.0	0.15	3.1	1.00	3.1
1.1 室内騒音レベル			—		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音					3.0	0.50	3.3	0.50	
1			開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2			界壁遮音性能		3.0	-	4.0	0.30	
3			界床遮音性能(軽量衝撃源)		1.0	-	3.0	0.20	
4			界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音			—		3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境					2.6	0.35	5.0	1.00	4.7
2.1 室温制御			—		3.0	0.50	5.0	1.00	
1			室温		3.0	0.63	-	-	
2			外皮性能		3.0	0.38	5.0	1.00	
3			ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御			—		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式			—		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					2.5	0.25	4.0	1.00	3.8
3.1 昼光利用					4.2	0.30	4.0	0.50	
1			昼光率		5.0	0.60	5.0	0.50	
2			方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3			昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					2.0	0.30	4.0	0.50	
1			昼光制御		2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度			—		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御			—		1.0	0.25	-	-	
4 空気質環境					3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策					4.0	0.60	4.0	0.63	
1			化学汚染物質		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気					3.0	0.40	3.0	0.38	
1			換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2			自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
3			取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1			CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2			喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.2
1 機能性					3.0	0.40	3.8	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	5.0	0.60	
1			広さ・収納性		-	-	-	-	
2			高度情報通信設備対応		3.0	-	5.0	1.00	
3			バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30	2.0	0.40	
1			広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50	
2			リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3			内装計画		3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	
1			維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2			維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	
1			耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2			免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.6	0.30	-	-	
1			躯体材料の耐用年数		5.0	0.20	-	-	
2			外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3			主要内装仕上げ材の更新必要間隔		1.0	0.10	-	-	
4			空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5			空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20	-	-	
6			主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					2.4	0.20	-	-	
1			空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2			給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	
3			電気設備		3.0	0.20	-	-	
4			機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5			通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
	3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	
	1	階高のゆとり	—	3.0	-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	—	3.0	-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		—	3.0	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)			—	0.30	-	-	2.7
1	生物環境の保全と創出		—	2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		—	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	—	3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	3.3
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	4.0
1	建物外皮の熱負荷抑制		・外皮性能として住棟単位でUA=0.4 η AC=1.6とした。	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		BEI=0.74、LED照明設備を導入。	4.6	0.50	-	-	4.6
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	集合住宅の評価			4.6	1.00	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	2.6
1	水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1 節水		—	1.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
	2.1 材料使用量の削減		—	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		—	2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体＋軽鉄＋仕上げ材のディテールを採用している。	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		PRTR法の対象物質を含有しない建材種別が1つある。	4.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	—	3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.1
1	地球温暖化への配慮		LCCO2排出率＝76%	4.0	0.33	-	-	4.0
2	地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
	2.1 大気汚染防止		—	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		—	2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	0.50	-	-	
	2	振動	—	3.0	0.50	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	3.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	—	3.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	-			○	○	-		-						
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0		-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0		-	○	-	-	○	-	○	○	-	-	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		-	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	5.0		-	-	2.0	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	1.0	-	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0		-	1.0	-	2.0	-	-	-	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1.0														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	5.0		1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	3.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	1.0	-	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	1.0	-		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	2.0		2.0	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		1.0	1.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)			
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床	
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC	η AH	
昼光率	4.0%				
自然換気有効開口面積率	0.0%				

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡
コンセント容量	0.0 VA/㎡					
天井高	2.5 m					
リフレッシュスペース	0.5%	レストスペース	2.0%			
想定耐用年数	0 年					
想定必要間隔	0 年					
想定必要間隔	0 年					
想定必要間隔	0 年					
階高	2.87 m					
壁長さ比率	20.0%					
床荷重	4000 N/m2					

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	59%	建物緑化指数	0%				
空地率	0%	水平投影面積率	0%	地表面対策面積率	0%	舗装面積率	0%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m	0.97	断熱等性能等級			等級5 相当		
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数		0.0%	採光を満たす住戸数	100.0%	
		通風を満たす教室数		0.0%	通風を満たす住戸数	100.0%	
		太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
BEI/BEI _m	再エネ有	-	無	-	オフサイト再エネ有	-	-
一次エネ削減率	再エネ有	26%	無	26%	10階建てのため		

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%				
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
使用比率	5.0%				
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)			

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比		3% 隣棟間隔指標Rw 1.43																	
地表面対策面積率		118.0%		屋根面対策面積率		#DIV/0!		外壁面対策面積率		#DIV/0!									
見付面積Sb		17㎡		卓越風向と直交する最大敷地幅Ws		53.4 m		基準高さHb		9.96 m									
緑地		㎡		水面		㎡		保水性対策面		㎡		高反射対策面		㎡		再帰性反射対策面		㎡	